

私たちサポートデスクは学生で構成された ICT^(情報通信技術) サポーターです。
電子計算機センターにSEや職員と常駐し、『パソコンに関する相談』や『講義の教材制作』など学生・教員のコンピュータ利用を支援しています。

サポートデスクの業務内容とは？

- 情報関連科目受講生のサポート
- パソコンの環境整備
- office 利用のレクチャー
- 講義の撮影
- 教材の電子化
- **字幕入り映像教材作成**



学内パソコンの清掃



講義について教員との会議



勤務中のスタッフ



字幕についての会議の様子

これは聴覚障がいを持つ学生を対象にした支援です。

講義などで使用される映像教材(1本、約10分~30分程度)の音声情報を文字化し
字幕として挿入・編集することで、音(声)が十分に聞こえないというハンデを持った
学生の情報保障を実現しています。

問い合わせ先

札幌学院大学 電子計算機センター 松本涼子
〒069-8555 北海道江別市文京台1-1番地

TEL011-386-8111(代表)

e-mail matumor@ims.sgu.ac.jp

アンケートの意見の一部

後ろの席にも見やすいように、字を大きめに、また背景の色に合わせて字の色を変えてほしい。

字幕を付けることは簡単ではないと思いますが、とても感謝しています。ありがとうございます。

字幕入り映像教材利用者の生の声

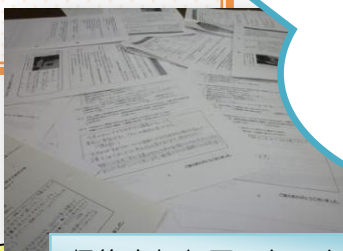
私たちは字幕入り映像教材を制作していくにあたり、利用者が理解しやすい映像を作成するには一定の完成度を保つことが必要だと気付きました。

完成度を保つためには、利用者の生の声を聞く必要があると考え、アンケートの実施や意見交換会を開催しました。

この様にして得られた意見・回答を十分に活かした独自のサポートデスク字幕ルールを作成しました。



意見交換会の様子



収集されたアンケート

字幕入り映像利用者

聴覚障がい学生

聴覚障がい支援団体

字幕入り映像の利用

意見・要望は
アンケート・意見交換会
によって直接収集

サポートデスク

字幕入り映像への
意見・要望をスタッフが

ルール化

サポートデスク字幕ルール

次から作成する字幕映像教材は改正された「サポートデスク字幕ルール」を基に作成されます。

☆行数・文字数☆

1行15文字程度基本的に1、2行。

☆「→」は続く☆

台詞が長い場合は「→」を使用して続くことを知らせる。

☆「、」「。」☆

「、」は使用せずスペース（全角）を代用。文の終わりは「。」「!」「?」など必ずつけます。

※ルールは一部ですので詳しくは本学のクess部門の作品をご覧ください。



問い合わせ先

札幌学院大学 電子計算機センター 松本涼子
〒069-8555 北海道江別市文京台11番地

TEL011-386-8111(代表)

e-mail matumor@ims.sgu.ac.jp

字幕入り映像ができるまで



① メディア媒体(VHS、DVD など)から映像をパソコンに取り込みます。



② 取り込んだ映像の音声情報を **字幕ルール**に沿って字幕に変換します。



③ 文章にしたデータを動画編集ソフトで編集し、映像に字幕を挿入していきます。



④ できあがった映像をDVDに焼き直し、完成！

サポートデスクの字幕サービスの実績

- ◆ 2008 年前期字幕作業についての検証、タイピング訓練。
 - 同年後期、字幕サービススタート。作業初期の3ヵ月で60本の字幕挿入を行う。
- ◆ 2009 年 2 月、第 1 回意見交換会を開催。
 - 同年 2、3 月朝日新聞、北海道新聞にサポートデスクの取り組みが掲載される。
 - 同年 5 月雑誌、螢雪時代(09/6 月号)にサポートデスクの活動が取り上げられる。
 - 同年 6 月、第 2 回意見交換会を開催。

問い合わせ先

札幌学院大学 電子計算機センター 松本涼子
〒069-8555 北海道江別市文京台 1 1 番地

Tel011-386-8111(代表)

e-mail matumor@ims.sgu.ac.jp